

班付リーダーの役割と心構え

ジュニアリーダーコミュニティセンター 管理人
はっちー (hachies@hotmail.com)

子ども会は、話し合いにはじまり、話し合いに終わります。

これは、ジュニアリーダーの活動にもあてはまります。

これらの行事が成功するかどうかは話し合いにかかっているとんでも過言ではないし、場合によっては、行事の本番当日はうまくいなくても、話し合いを通して、みんなの気持ちがひとつになったり、仲良くなったりすれば、その行事は「成功だった」といえるかもしれません。

それくらい、話し合い活動は重要です。

ところで、子ども会の話し合いは、子ども会の会員のみんなが中心になって、進んでいきます。ジュニアリーダーは、この中で、「班付リーダー」という役割をします。では、班付リーダーとは、具体的にどのようなことをするのでしょうか。

- ・話し合いのしやすい環境を作る
- ・班長さんを助け、補助する：なるべく班長さん(みんな)にやらせる
- ・時には適切な助言をし、方向付けをする：できれば「気づかせる」ようにする。
- ・遊びを提供し、一緒に楽しむ

言うならば、班付リーダーは『**班のコーディネーター**』である！

つまり、班長が中心で話し合いを進めるといっても、**班付リーダーは無関心ではいけません。**

班長さんが困っているときや、方向性が違ってきているときには、班に**適切な助言**をしなければいけません。しっかりとみんなを見て、積極的な発言はさけながらも、参加をするのが望ましいといえます。

そこで、班長さんが困ったり、班付リーダーから見て望ましくない、次のような事態が起きたとき、班付リーダーはどうしたらよいのか、みんなで考えてみましょう。

***答えはいつも1つではありません。**

この模範解答よりあなたの考えたもののほうがずっと良いかもしれないし、みんなに書いてもらったとき、みんなが出した答えのほうが素晴らしいときも多いはず。臨機応変に考えてみよう！

(1) 仲良し同士で席をくっつけて座ってしまった **なぜ悪い？ ...おしゃべりをはじめてしまう**

- ・班長に、「ばらけて座ったほうがいいんじゃない？」と助言する
- ・言いにくそうなら、「ちゃんはここに座ろう」と声をかける

cf.一人ぼっちの子がいたら？

(2) 班長さんが、話し合いのテーマや内容をよく理解していない

- ・話し合いのテーマや内容をもう一度振り返る。
- ・できればみんなで思い出すように、班長さんに言う。

(3) 特定の人ばかりが発言している

- ・班長さんに促すのもよいが、班長さんでは手におえない場合が多いので、班付リーダーから、別の子に「ちゃんはどう思ってる？」と聞いてみる。

- (4) 非常に力のある、ボスの存在の子に押されて、その子のいいなりになってしまっている
 - ・「君の意見ばかり強く通しても、他の人はもっと違う意見があるかもしれないから、他の人の意見も聞いてみよう」と助言してみる。
- (5) 話し合いの方向がずれてしまった
 - ・班長さんに「話を戻そうか」と言うか、班付からみんなに言うかは、場合場合に応じて臨機応変に対応できるようにしているとよい。
- (6) まったく口をきかない子がいる
 - ・班付リーダーが積極的に、「君はどう思う?」と聞いてみる
- (7) 話し合いが行き詰まった
 - ・「私ならこう考えるけど、みんなどうかな?」
解答を与えず、さらに話し合いを深める方向にうながす
- (8) 出てきたものに無理がありすぎる
 - ・「もっとこうしてみたら、どうかな」
全否定ではなく、みんなの意見を、一部でいいから組み込むことができるとよい
- (9) 行事の準備や、本番で、みんなが忘れていそうなことや、必ず考えておいてほしいことがある。
 - ・班長さんに、「は忘れてない?」と助言する
 - ・本当に大切なことはみんなに言う
- (10) 友達の遊びに参加しようとしていない子がいる
 - ・班付リーダーが「さあ一緒にやろうよ!」と誘い込む

こうしてみてきたように、班付リーダーがいるのといないのでは、話し合いや活動が全然違ってくるのがわかります。それほど、班付リーダーの役割は重要なのです。

班付リーダーの心がまえ

- ・あらかじめ、テーマを理解し、自分の考えをまとめておくこと
 - ・話し合いの中で、みんなが考えてゆく筋道を助けることに力をおき、そこで話し合われている問題に解答を与えるものではないこと。
 - ・みんなに信頼されるリーダーになれるように、努力をすること
 - しっかりした目的をおき、その目的に向かってそれをやりとげようとする熱意のある、やる気のある人。
 - その目的のために、一步一步どんなに進めていけばよいか、活動の仕方つまり活動をよく考えてプログラムを立てたり、展開する能力を身につけている人。
 - その目的を達成することの意味を他の仲間に分かってもらったり、仲間作りをしながら、活動展開の方法をみんなで考え実践する人。このように友達関係を上手に進めることのできる人。
- (全子連刊『ともに学ぶジュニアリーダー』より)

さあ、ここまでできたら、実際にグループで、話し合いを体験してみましょう。
 班長1名、班付リーダー2名を作って、講師が出した「お題」について話し合ってみます。
 残りの班の人は、その様子を見て、あとで感想を言ってもらおうとよいでしょう。
 「班付リーダー」の役割を体験するというのを、忘れないように心がけましょう。